

畜

産

畜 産

1 畜 産

本市の畜産業は、都市近郊という立地条件を生かして経営の近代化、新技術の導入を積極的に行うなどして発展してきました。

しかし、高度経済成長期から経済の低成長時代に至って食肉の輸入自由化が行われるなど、消費の動向は低価格輸入肉への移行が進み、国産食肉の消費の低迷が続いています。

また、口蹄疫が平成22年4月から7月にかけて宮崎県の292戸の農家で発生したことや、CSF（豚熱）が平成30年9月に岐阜市で発生し、令和元年のワクチン接種開始後も令和2年度に5県5事例、令和3年度に7県14事例発生したこと、高病原性鳥インフルエンザが平成28年度に隣接の山県市で、令和2年度には県内美濃加茂市を含め全国18県で53事例、令和3年秋から令和4年春のシーズンは全国12道県で25事例発生したことなど、家畜衛生を取り巻く情勢は未だ厳しく、すべての畜産農家が懸命な防疫対策を行っています。

こうした厳しい条件の中、需給体制の強化や消費者の食品に対する安全安心志向に合った良質な畜産物生産が、畜産経営の安定を図るための重要な課題となっており、この方向に沿った経営基盤の再構築、家畜排泄物の堆肥化（リサイクル）*などの環境対策を行い、畜産振興を推進しています。

※ 市内養鶏農家の鶏ふんの一部は、畜産センター公園の家畜ふんや市内公立学校・市立幼稚園・保育所の給食残さ等と混合し直営の堆肥化処理施設「エコプラント椿」で堆肥化。養豚・肉用牛農家の家畜ふんは自家処理または民間等の堆肥センターで堆肥化しており、現在は防疫の観点から自家処理施設の整備を推進している。

○ 重要施策

1 経営の合理化と近代化

(1) 経営・流通対策

ア) 畜産共進会…岐阜市畜産共進会の後援、県共進会等への参加

(2) 指導対策

ア) 団体育成…畜産振興会の育成強化

(3) 環境対策

ア) 環境対策指導事業…環境問題の現地調査指導、光合成細菌の普及

(4) エコプラント椿事業

ア) 家畜排泄物等堆肥化

2 家畜防疫衛生対策

(1) 畜産衛生対策

ア) 各種疾病検査及び予防注射の実施

イ) 多発疾病防除事業の実施

(2) 家畜診療事業

(3) 家畜人工授精事業

(1) 乳 用 牛



生産コストの低減と経営の安定化を図るため、河川敷草地を共同利用した自給飼料の増産を推進し、優良精液による人工授精や受精卵移植により後継牛の確保に努めています。また、ワクチン接種及び畜舎消毒による疾病予防対策の実施、悪臭の防止、排泄物の管理適正化を図ることにより地域環境に融和した、新鮮で安全安心な牛乳の供給を目指した都市近郊型酪農を推進しています。

乳用牛頭数及び戸数の推移

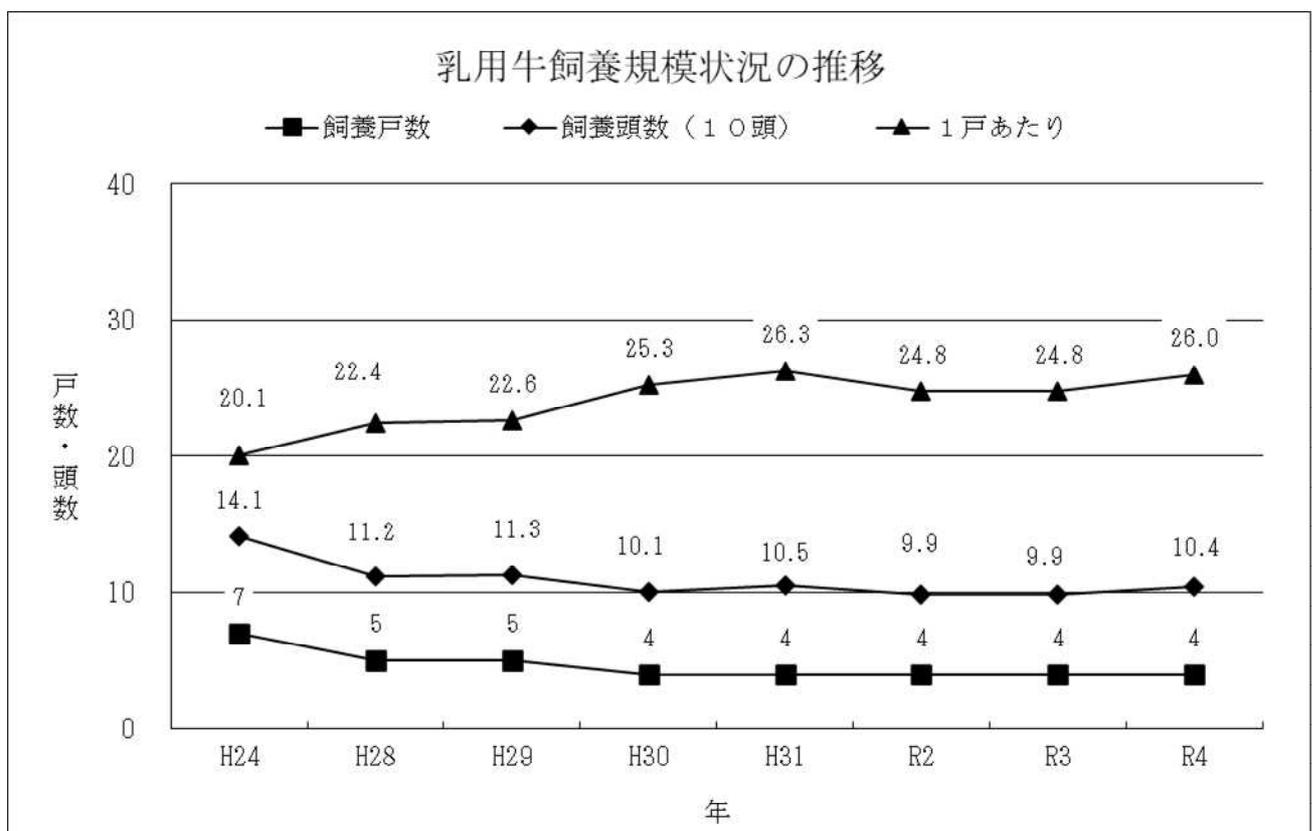
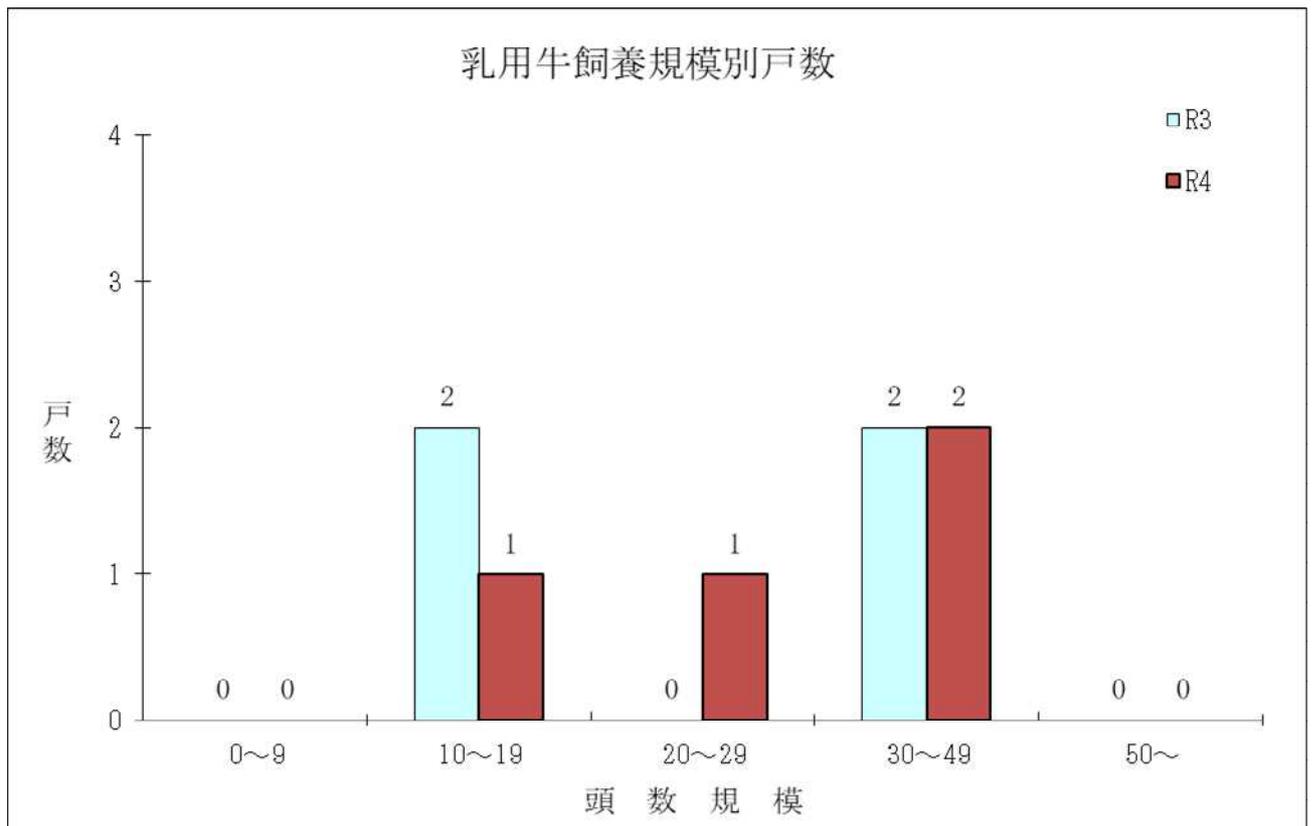
令和4年2月1日現在

区分 年	岐 阜 市				岐 阜 県			全 国		
	戸 数		頭 数		戸数	頭 数		戸数	頭 数	
平	戸	%	頭	%	戸	頭	%	千戸	千頭	%
24	7	100	141	100	167	7,670	100	20	1,449	100
25	5	71	139	99	155	7,250	95	19	1,423	98
26	5	71	133	94	151	7,020	92	19	1,395	96
27	5	71	123	87	145	6,780	88	18	1,371	95
28	5	71	112	79	137	6,480	84	17	1,345	93
29	5	71	113	80	130	6,180	81	16	1,323	91
30	4	57	101	72	118	5,950	78	16	1,328	92
31	4	57	105	74	107	5,710	74	15	1,332	92
令 2	4	57	99	70	104	5,510	72	14	1,352	93
3	4	57	99	70	102	5,510	72	14	1,356	94
4	4	57	104	74	95	5,450	71	13	1,371	95

(注) 岐阜県・全国の数字は農林水産省畜産統計による。

人工授精事業

年 度	26	27	28	29	30	R元	2	3
授 精 件 数	290	261	289	271	286	269	230	259



(2) 肉 用 牛



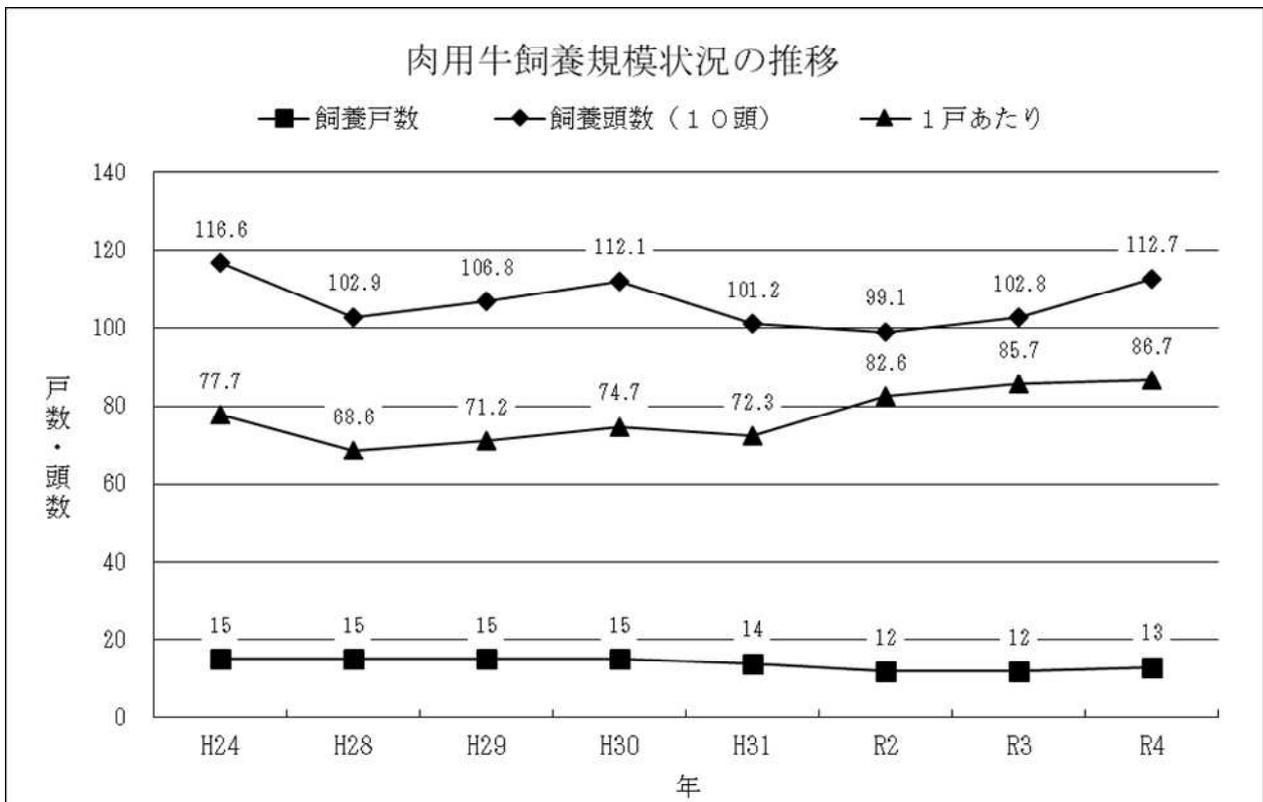
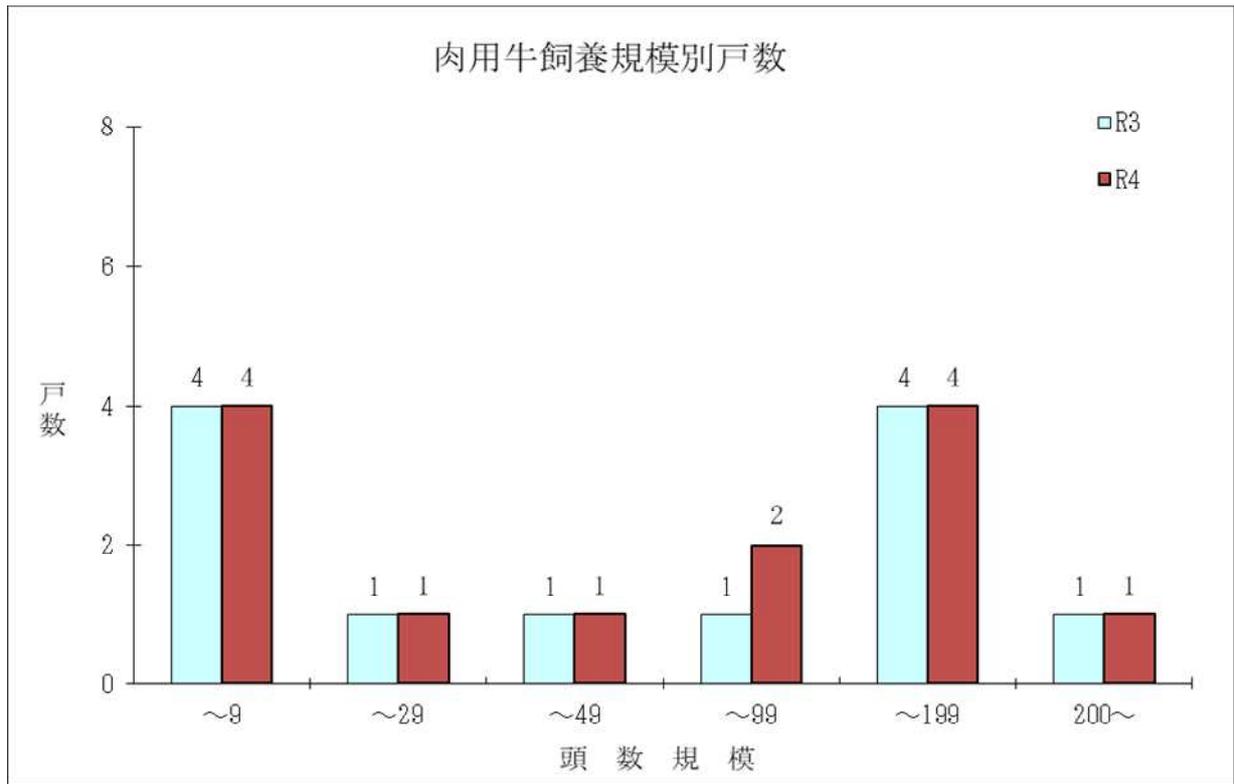
県内外の黒毛和牛主要産地から血統を重視した肉用素牛を導入し、肥育技術の確立によって、県の銘柄牛「飛騨牛」の安定的生産に貢献しています。また、防疫衛生と環境保全を図り、肥育牛農家生産意欲向上と流通促進のための畜産共進会の後援、さらに家畜保健衛生所との定期的な巡回指導、先進地視察の実施により最新の肥育技術の導入を図り、経営の近代化と肉質の向上をめざしています。

肉用牛頭数及び戸数の推移

令和4年2月1日現在

区分 年	岐 阜 市				岐 阜 県			全 国		
	戸 数		頭 数		戸数	頭 数		戸数	頭 数	
	戸	%	頭	%	戸	頭	%	千戸	千頭	%
平 24	15	100	1,166	100	656	35,200	100	65	2,723	100
25	15	100	1,121	96	611	34,500	98	61	2,642	97
26	15	100	1,118	96	593	33,800	96	58	2,567	94
27	15	100	1,063	91	578	32,100	91	54	2,489	91
28	15	100	1,029	88	533	31,400	89	52	2,479	91
29	15	100	1,068	92	525	31,600	90	50	2,499	92
30	15	100	1,121	96	512	31,800	90	48	2,514	92
31	14	93	1,012	87	497	31,300	89	46	2,503	92
令 2	12	80	991	85	481	32,200	91	44	2,555	94
3	12	80	1,028	88	464	32,800	93	42	2,604	96
4	13	87	1,127	97	452	32,900	73	40	2,614	96

(注) 岐阜県・全国の数字は農林水産省畜産統計による。



(3) 豚



飼料価格の高騰、海外からの伝染病の侵入、環境対策等、養豚経営を取り巻く環境は、年々厳しくなっています。

平成30年9月に、国内では平成4年以来26年ぶりとなるCSF（豚熱）が発生し、当時4戸中2戸の養豚農場で感染が確認されました。

こうした中で、競争力を高めるため、ビタミン等を加えた専用飼料を与えた銘柄豚肉「飛騨けんどん・美濃けんどん」、「美濃ヘルシーポーク」を生産することでブランド化を図っています。

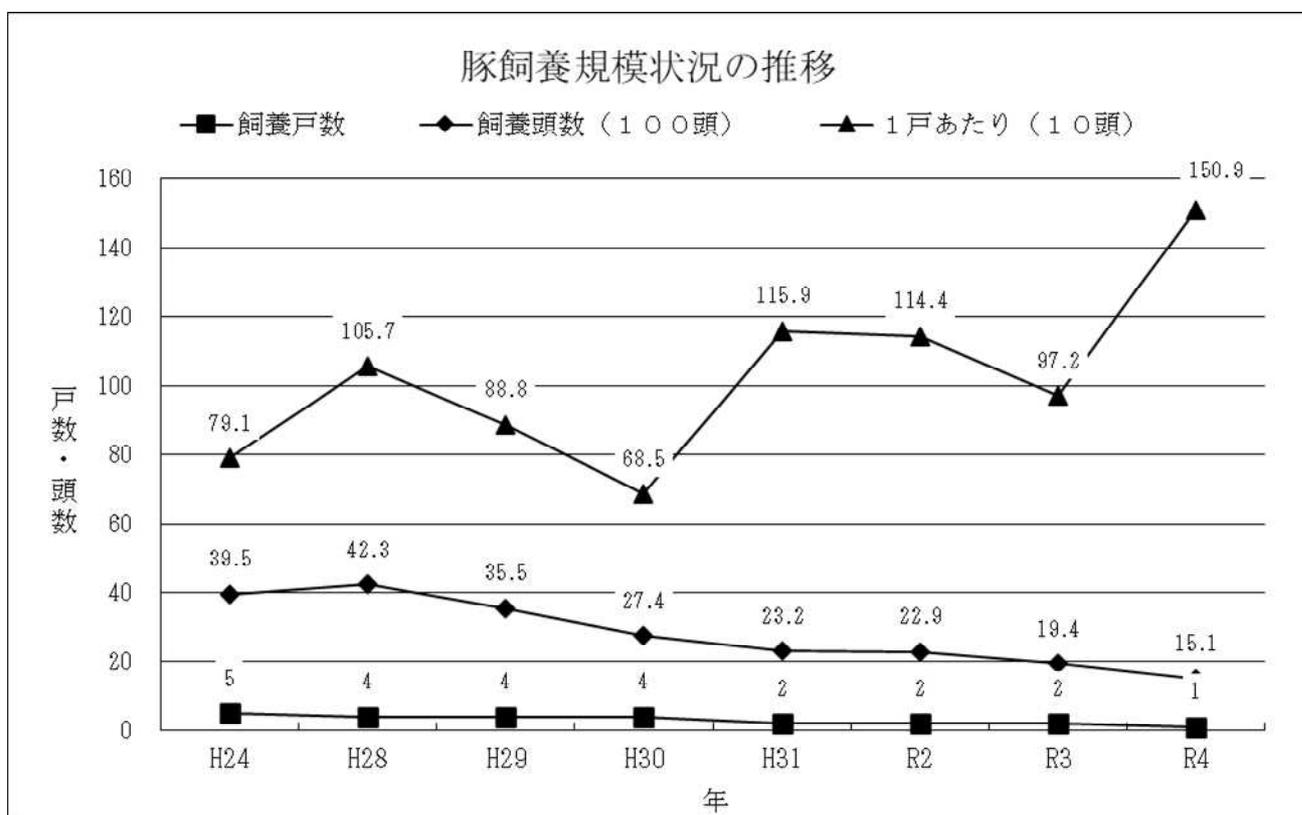
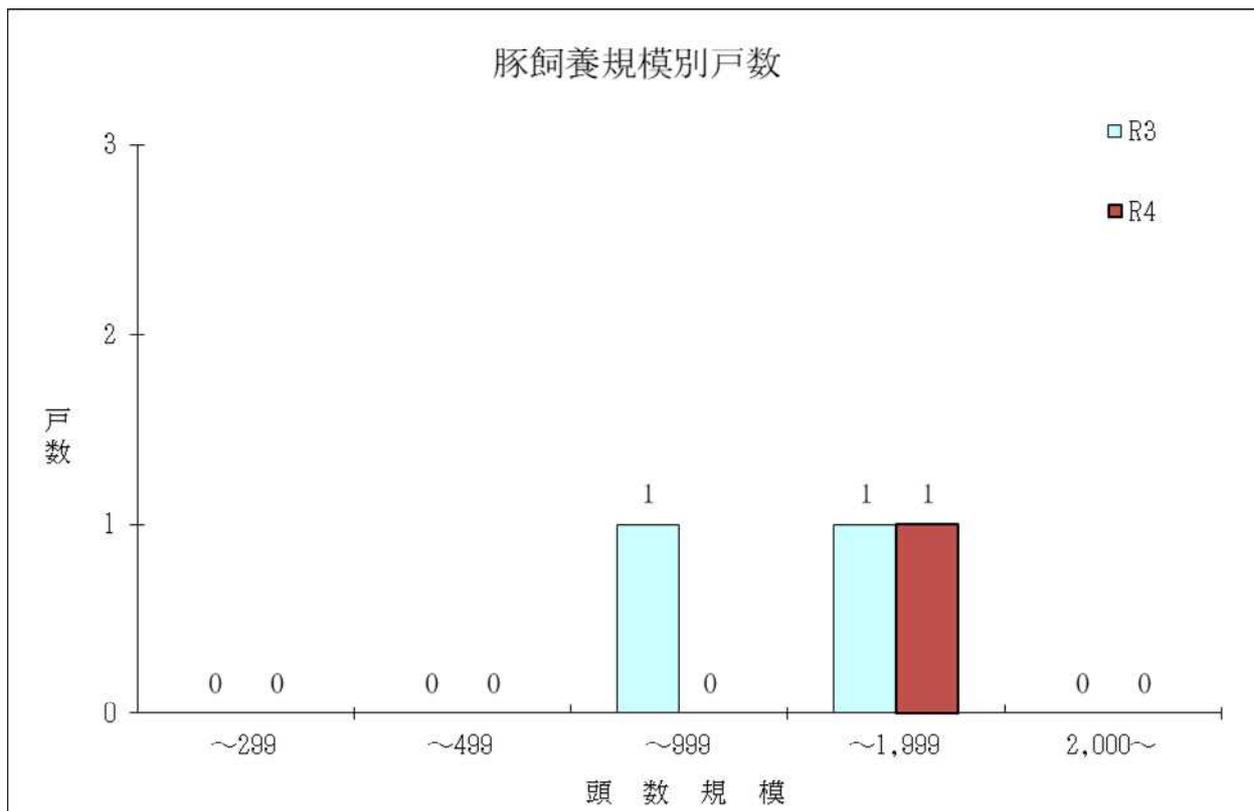
また、家畜の健康を守るため家畜診療、予防注射事業及び畜舎消毒事業等の防疫衛生対策により健康な豚の生産に努めています。

豚頭数及び戸数の推移

令和4年2月1日現在

区分 年	岐 阜 市				岐 阜 県			全 国		
	戸 数		頭 数		戸数	頭 数		戸数	頭 数	
	戸	%	頭	%	戸	頭	%	千戸	千頭	%
平 24	5	100	3,954	100	52	103,800	100	6	9,735	100
25	5	100	4,887	124	46	102,600	99	6	9,685	99
26	5	100	4,636	117	41	99,100	95	5	9,537	98
27	4	80	4,309	109	← データなし（センサス年のため、調査を行ってない） →					
28	4	80	4,229	107	40	105,100	101	5	9,313	96
29	4	80	3,553	90	40	110,300	106	5	9,346	96
30	4	80	2,741	69	40	106,300	102	5	9,189	94
31	2	40	2,317	59	32	99,800	96	4	9,156	94
令 2	2	40	2,288	58	← データなし（センサス年のため、調査を行ってない） →					
3	2	40	1,944	49	27	79,800	77	3	9,290	95
4	1	20	1,509	38	27	89,700	86	3	8,949	92

(注) 岐阜県・全国の数字は農林水産省畜産統計による。



(4) 養 鶏



採 卵 鶏 鶏 舎

本市は、初生ヒナの生産地として全国的に知られています。

都市圏内の養鶏として、鶏卵の高品質化や、銘柄商品など特殊鶏卵の開発・研究に努め、経営の基盤整備を図り、さらに疾病に対する各種予防注射の実施等防疫衛生対策を推進することにより経営の安定と近代化を図っています。

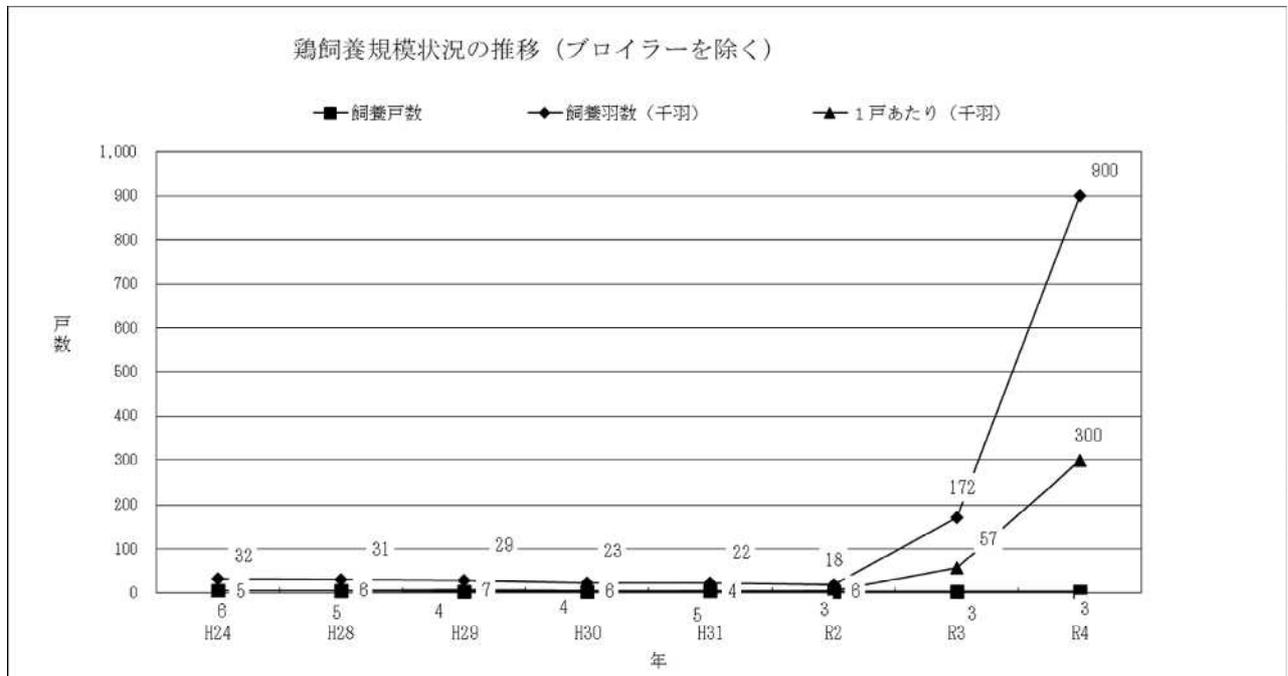
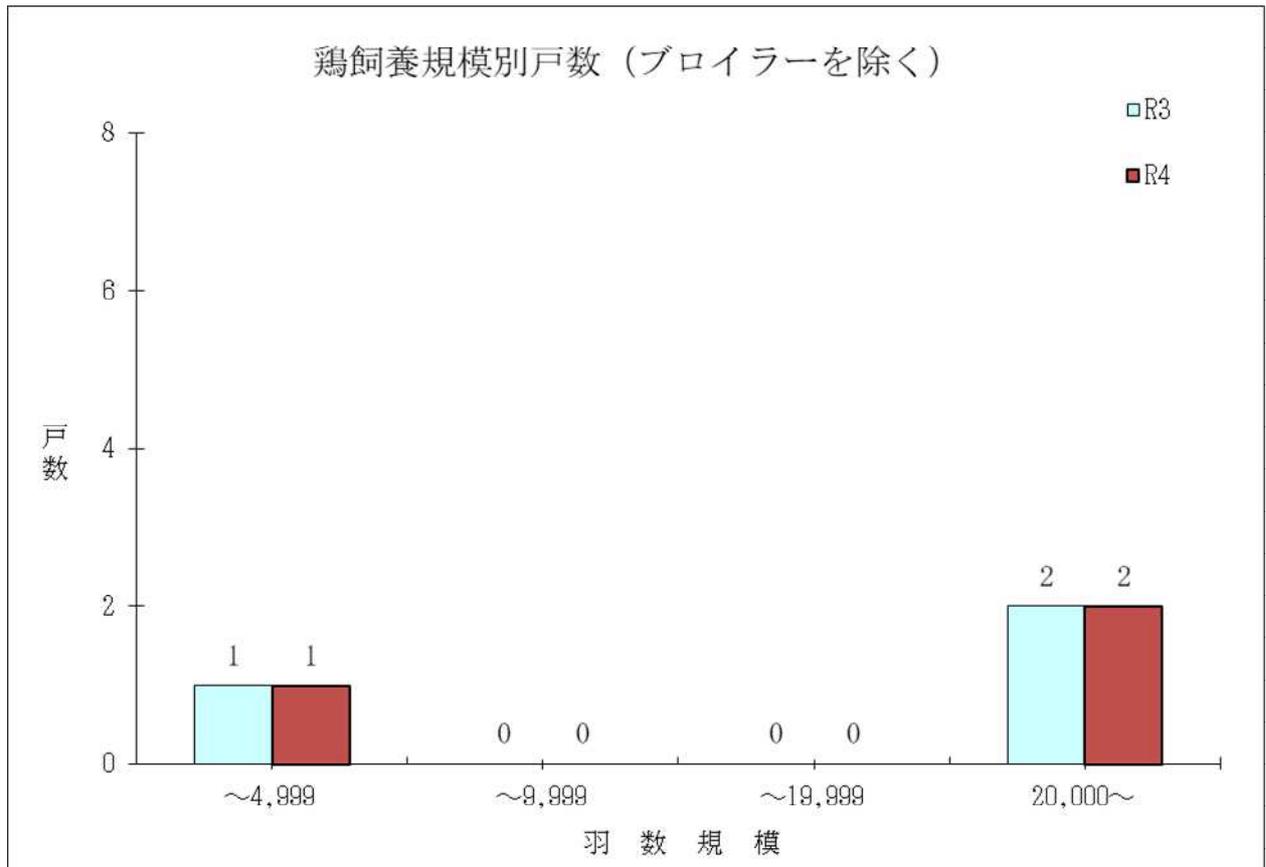
鶏の羽数及び戸数の推移

令和4年2月1日現在

区分 年	採 卵 鶏 (種鶏を含む)										ブロイラー		
	岐 阜 市				岐 阜 県			全 国			岐 阜 市		
	戸 数		羽 数		戸 数	羽 数		戸 数	頭 数		戸 数	羽 数	
平	戸	%	千羽	%	戸	千羽	%	千戸	千羽	%	戸	千羽	%
24	6	100	32	100	106	5,915	100	3	174,949	100	1	24	100
25	6	100	33	103	97	5,258	89	3	172,238	98	1	24	100
26	6	100	34	106	92	5,170	87	3	172,349	99	1	0	0
27	6	100	36	113	← データなし (センサス年のため、調査を行ってない) →						1	0	0
28	5	83	31	97	79	5,077	86	2	173,349	99	1	0	0
29	4	67	29	91	76	5,088	86	2	176,366	101	1	0	0
30	4	67	23	72	74	5,264	89	2	181,950	104	1	0	0
31	5	83	22	69	69	4,867	82	2	182,368	104	1	0	0
令 2	3	50	18	56	← データなし (センサス年のため、調査を行ってない) →						1	0	0
3	3	50	172	538	50	4,669	79	2	180,918	103	1	0	0
4	3	50	900	2812	49	4,945	84	2	180,096	103	1	26	108

(注) 岐阜県・全国の数字は農林水産省畜産統計による。

(注) 岐阜県・全国の採卵鶏の戸数・羽数に種鶏の戸数・羽数を含まない。



主要家畜地区別飼養戸数及び頭羽数

令和4年2月1日現在(属地)

区分 地区	乳用牛		肉用牛		豚		鶏	
	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数
黒野	1	22	1	9			1	0
網代	1	35	8	920	1	1,509		
方 県			2	156			2	48,500
西 郷								
合 渡								
三 輪							1	877,263
常 磐								
岩野田								
鷺 山								
則 武								
早 田								
市 橋	2	47	1	4				
岩								
柳 津			1	38				
合 計	4	104	13	1,127	1	1,509	4	925,763

(5) 養 蜂



本市の養蜂は、温暖な気候と最良の蜜源であるレンゲに恵まれ、養蜂の先進地として発展してきました。しかし、農業の近代化と構造の変化によって、レンゲの栽培面積は激減し、これを回復させるため養蜂部会と関係機関が一体となってレンゲ播種事業と蜜源樹木の植栽事業を推進してきましたが、害虫や自然環境の変化によって全国的に花が咲かない等の被害が出ており、国・県・関係団体が、対策方法の確立をめざしています。また、経営基盤確立のため柿・イチゴ生産農家と連携し、ポリネーション事業の定着、拡大を図っています。

みつばち飼育群数及び戸数の推移並びに養蜂振興事業の推移

令和4年3月31日現在

区分 年	岐阜市				花粉交配用貸蜂		レンゲ播種 栽培面積 ha
	戸 数		飼育群数		施設園芸 (イチゴ)	果樹園芸 (柿)	
	戸	%	群	%	群	群	
平 24	34	100	1,371	100	150	116	271
25	43	126	1,974	144	132	116	272
26	51	150	1,891	138	134	115	261
27	49	144	1,783	130	133	106	254
28	14	41	908	66	108	94	241
29	9	26	481	35	114	94	214
30	9	26	487	36	100	94	190
31	11	32	580	42	88	90	135
令 2	11	32	492	36	79	89	111
3	12	35	354	26	77	90	89
4	11	32	481	35	—	—	—

(6) 団 体

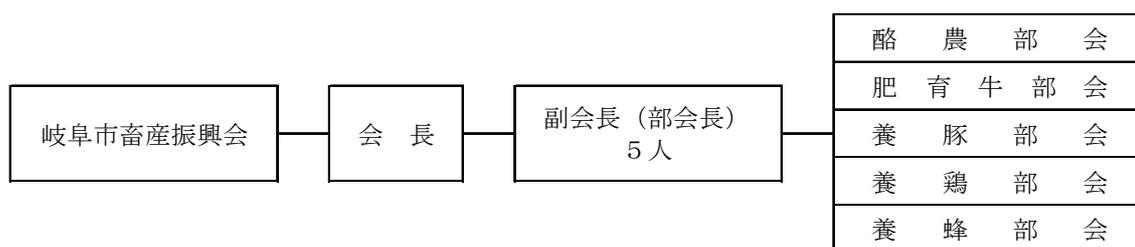
○ 岐阜市畜産振興会

設立年月日 昭和39年5月27日

事務局 岐阜市椿洞776-4

概 要 本会は、酪農、肥育牛、養豚、養鶏、養蜂の経営農家ごとで組織する5部会をもって構成し、本市の畜産振興に関する諸施策を審議するとともに、それに基づく各種事業の円滑な推進を図るための活動を行っています。

組織系統図



※肥育牛部会は令和4年度から肉用牛部会に名称変更

(7) 家畜排泄物等堆肥化处理施設

(施設名) エコプラント椿

(所在地) 椿洞813番地3

(建物面積) 1,463.83㎡ (管理棟・製品保管庫含む)

(処理能力) 10t/日

(処理方法) 新型パドル式発酵槽

(堆肥化原料) 鶏ふん (農家)、家畜ふん (畜産センター公園等)、学校等給食残さ等

(竣 工) 平成12年3月

(令和3年度) 原料受入 1,153t (令和2年度 362t)

(実 績) たい肥生産量 351t (令和2年度 284t)

たい肥販売量 335t (令和2年度 321t)

